

第3種郵便物認可

業斤

農

# 小玉スイカ 続く盗難

桜川、筑西両市で日本一の生産量を誇る「小玉スイカ」の盗難被害が止まらない。11日から12日にかけて桜川市で約700個が盗まれたのに続き、新たに両市で1件ずつスイカが大量に盗まれていたことが県警への取材でわかった。ビニールハウスが多く、すべて見回るのが困難なため、近隣の生産者は頭を悩ませている。



桜川署によると、18日夜から19日午前8時にかけて桜川市内の農業男性(55)のビニールハウスから小玉スイカ約200個(26万円相当)が盗まれた。現場は、11日から12日にかけて約700個が盗まれたビニールハウスから北に2



ビニールハウスで育てられた出荷前の小玉スイカ。筑西市

## 特産地の桜川・筑西、すでに1千個超被害

※ほど離れた場所。出荷を間近に控えていた。筑西署によると、筑西市でも14日から15日にかけてスイカ約50個が盗まれたという。

両署によると、5月に入ってから被害が確認されたのは5件で、千個を超えるスイカが盗まれたことになる。「今年は2月の大雪の影響で出荷量も少なかった。我が子のように大切に育てたスイカを出荷の目前に盗むなんて、許せない」

筑西、桜川両市を管轄するJA北つくばの富田章さん(33)は、そう話す。小玉スイカは12月から栽培が始まる。出荷時期は3〜6月。糖度が高く、スーパーでは1玉千〜2千円で販売されるという。

筑西市で小玉スイカを栽培する農家の男性(61)は「この辺にはスイカをメインにしていないので対策もとれない」と不安を口にする。

## 県警「日中の不審車 通報して」

### ビニールハウスが多く「すべての見回り困難」

管内にはビニールハウスがありすぎる。すべてを見張るのは、ほぼ不可能に近い。筑西、桜川両署の幹部は口をそろえる。

筑西地域農業改良普及センターによると、筑西市と桜川市で小玉スイカを栽培するのは計184人。「農協に所属していない農家も含めれば、この倍はいる」という。

被害に遭ったビニールハウスは車や人の通りが少ない場所にある。周りには田畑が広がり、街灯も少ないため、夜間は真っ暗。両署の幹部は「ライトをつけてパトロールすれば、離れた場所でも気づかれる。車で近づく前に相手に逃げられてしまう」と頭を抱える。

「スイカ700個を一度に運ぶためには、2人で運んだとしても3時間はかかる」と富田さんはいう。

1箱4〜5個入りで8〜10番通報してほしい」と呼びかけている。

※。軽トラックの荷台に積んだとしても、1台で運べ

(照屋健)